

横川地域学校園（横川中学校、横川中央小学校、横川東小学校）

1 研究テーマ

『豊かな心の育成を目指す 横川地区学校園の小中一貫教育
— 自分・人・地域を大切にすることの育成を目指して — 』

2 研究内容

(1) 本地域学校園の小中一貫乗り入れ授業を通して相互理解を深める

☆ 中学校から小学校への乗り入れ（T2）



会話科の授業へ



算数科の授業へ



国語科の授業へ

* 中学校教諭から *

小学校6年生の授業の様子に触れ、挙手・発表・聞き方の指導と現状を体感しました。中学校では「より成長した授業への取り組み」の指導について各学年で話し合いました。

☆ 小学校から中学校への乗り入れ（T2）



前期は卒業生の様子を中心に参観。後期には、授業研究を主とした参観と参画。



* 小学校教諭から *

成長した卒業生の姿に安心しました。

中学校の授業の臨んだ時に生徒が苦手に感じる内容について、小学校での指導の仕方を考え直すきっかけになりました。

☆ 中学校教諭の小学校への乗り入れ授業（T1）



* 中学校教諭からT1授業をして *

小学生に分かりやすい授業の導入を考えることは、中学生に対して基本的な内容をいかに理解させるかの新たな視点を考えさせられることになりました。

(2) 道徳の授業公開を通して授業力の向上を図る

☆全クラスの授業公開

11月に中学校全クラスの道徳の授業公開を行いました。

1学年 3－（1）生命の尊重 「いのちをいただく」

2学年 4－（5）働く喜び「仕事で学んだこと」

3学年 2－（6）人との関わり「あなたがいる幸せ・・・時をこえて」



道徳の授業公開にも、小学校教諭の参観がありました。

☆要請訪問

『いのちをいただく』の授業参観及び研究協議に全職員が参加し、熱心に研修しました。



3 成果と課題

- 授業参観・参画を通して、小中の文化の違いを体感することができ、児童・生徒に対して勤務校での授業のアプローチの仕方について考えることが出来た。
- 道徳についての学年ごとの活発な意見交換・授業研究が熱心に行われた。
- ◇ 小中乗り入れ授業に関しては、多くの教職員が関われるように地域学校園内の行事調整等が必要がある。
- ◇ 児童生徒の学習定着度を踏まえて、年間指導計画を積極的に本地域学校園化し、小中の学習内容のスムーズなつながりと学力保障の方策を考えていく必要がある。